

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成30年4月15日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 フクトマリカヒガシチョウナイ
福 泊 川 東 町 内 会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	災害時要援護者に配慮した災害対策
事業実施区域 (小学校区)	中区福泊川東町内会
①事業実施内容	※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。 (1) 防災アンケートの実施(4月回収、5月結果報告) 回収数129件、回答率66.5% (2) 防災講座の開催(町内会集会所にて) 7月2日 災害への備え 24名参加 7月30日 助け合いを考える会 25名参加 9月10日 認知症サポーター養成講座 24名参加 11月19日 地震発生時の机上訓練 17名参加 (3) 災害発生時の対策本部用備品の調達 ・対策本部用文房具 ・非常通信用無線機 ・災害情報収集用ポータブルラジオ (4) あんしんカプセルの全戸配布 避難所での受付に使用する『避難者登録カード』を事前に記入して自宅冷蔵庫に貼り付けて保管

② 解決を目指した課題	(1) 災害への備えについての全戸調査 (2) あんしんカプセルの全戸配布 (3) 災害時要援護者の情報共有 (4) 災害別・時系列別の対策検討と防災講座の実施 (5) 災害対策本部設置運営訓練 (6) 非常用通信手段として無線機の配備と使用訓練 (7) 集会所の機能強化計画検討
③ 目的・目標の達成状況	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こしにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。
	(1) 災害への備えについての全戸調査 平成29年4月開催の定期町内会総会に合わせて、災害への備えについてのアンケートを実施することで、回収率を高めることができた。 ※活動実績資料②防災アンケート 参照
	(2) あんしんカプセルの全戸配布 平成30年4月開催の定期町内会総会のための議案資料配布と合わせて、町内全戸200世帯に「あんしんカプセル」を配布した。 岡山市避難所運営マニュアルの「避難所登録カード」を3枚複写にし、家族構成・緊急連絡先などを、事前に記入してもらいソフトビニールケースに入れて冷蔵庫に貼り付けておくことで、災害時の情報把握に役立てる 情報記入の様式として、避難所運営用の「避難所登録カード」を採用したことで、避難所の受付票としても活用できる。 ソフトビニールケースを採用したことで、かさばらずに冷蔵庫に貼り付けることができ、保険証・お薬手帳なども一緒に入れておくことで、病院受診時の書類入れとしても活用できる。 ※活動実績資料⑤あんしんカプセル 参照

(3) 災害時要援護者の情報共有

民生委員による高齢者宅の個別訪問、シルバークラブ（老人会）によるサロン活動、高齢者見守り活動などを通じて、災害時要援護者に関する情報を収集し、町内関係者で共有する仕組みを想定していた。

しかしながら、防災講座・助け合い講座などの実施により、「共助」の必要性の認識は深まったものの、具体的行動への機運までは盛り上がらず、具体的活動には至らなかった。

「共助」の必要性を認識してもらうための講座を2回実施した。

- ・ 7月30日 助け合いを考える会 25名参加
- ・ 9月10日 認知症サポーター養成講座 24名参加

※活動実績資料③防災講座・助け合い講座 参照

(4) 災害別・時系列別の対策検討と防災講座・実地訓練の実施

停電、内水災害、洪水（百間川決壊）などの災害別および災害発生直後・避難準備・避難行動・避難生活といった時系列別に、課題を洗い出し、自助・共助を切り分け、対策を検討し、検討結果を踏まえた防災講座・実地訓練を想定していた。

この推進体制として、住民からメンバーを募り推進事務局を立ち上げる計画であったが、4月の本事業推進責任者の人事異動により、根回し・打ち合わせの時間が取れなくなり、推進事務局を立ち上げることができなかった。

5月27日町内で発生した火災を受けて、火災をテーマとした防災講座を7月2日開催した。岡山市危機管理室・警察・消防の協力の元、災害への意識高揚を図ることができた。

※活動実績資料③防災講座・助け合い講座 参照

(5) 災害対策本部設置運営訓練

災害対策本部での使用が見込まれる文房具類を洗い出し調達した。災害発生時に、避難所および町内集会所の2カ所での使用を想定し、2セットをBOXコンテナに収容し、町内集会所に備え置いた。

実地訓練での使用の機会はなかったが、筆記用具は防災講座などでのアンケート記入に活用した。

※活動実績資料④災害対策本部用文房具・無線機 参照

11月19日に、実施発生時の初動対応についての机上訓練を実施した。事前準備なしに、いきなり災害が発生したと仮定し、どう行動していくべきかをグループで話し合うことを企画していたが、出席者の知識・意識がバラバラで、防災についての意見交換に終始した。

※活動実績資料③防災講座・助け合い講座 参照

(6) 非常用通信手段として無線機の配備と使用訓練

非常時に有効な通信手段として、特定小電力トランシーバー4台を調達し、町内集会所に備え置いた。

実地訓練での使用の機会はなかったが、12月2日通信試験を実施した。集会所を拠点に、南北は町内全域をカバーできたが、東西は一部交信できないところがあった。

※活動実績資料④災害対策本部用文房具・無線機 参照

(7) 集会所の機能強化計画検討

防災および共助の観点から町内集会所の果たすべき役割・機能を見直し、そのために必要なハード・ソフト両面での整備計画を検討することを計画していた。整備計画を作成するに当たっては、福祉・介護・建築など関連分野の専門家を招聘し勉強会を計画していた。

しかしながら、集会所屋根の修繕のために補助金の交付を受け、今後5年間、集会所改修の財源となる補助金を使えなくなった。

集会所改修の補助金交付を受けられる5年後をターゲットに、本項目は先送りとした。

④企画等の工夫と情報公開

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

【企画等の工夫】

- ・町内会定期総会の出席、委任状回収とタイミング合わせた防災アンケートの回収による、回収率を高めることができた。
- ・グループワークを盛り込んだ講座開催により、座学での一方的な学習だけではなく、自ら考えることで、学習効果を上げることができた。

【情報公開】

- ・防災活動計画、防災アンケート結果の全戸配布により、一過性で記憶から薄れがちな回覧に比べ、周知を深めることができた。
- ・講座の開催報告を、富山学区電子町内会のホームページに掲載することで、町内にとどまらず学区内に周知することができた。

⑤ 次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 (1) 住民への啓蒙活動 災害への備えをテーマに、年2回の防災講座と通じて、「自助」の取り組みの啓蒙を図る。 防災アンケートは、前年度に引き続き平成30年4月の定期町内会総会に合わせて、アンケート用紙を配布済み。前年度との比較により、「自助」への取り組みが進展したかどうか確認できる。 (2) 町内会役員への啓蒙活動 ・年6回開催される町内会役員会にて、10分から15分程度の、ミニ防災講座を通じて、「共助」の取り組みの啓蒙を図る ・秋祭りでのだんじり巡行など町内行事で、無線機の使用訓練を行い、災害時の使用に備える (3) 富山学区の活動との連携による「共助」への取り組み 富山学区小地域ケア会議で立ち上げようとしている、有償ボランティアによる助け合い事業に、モデル町内会として参画し、「共助」の機運を盛り上げる。
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。 年間を通した活動により、防災・助け合いに関する意識は高揚したが、具体的な助け合いについての機運が盛り上がるまでには至っていない。 防災・助け合いへの関心は高まっているものの、講座への出席者は、20名前後と、200世帯という町内会規模としては、十分なものとは言えない。 「自助」への取り組みを啓蒙する活動を繰り返し、「共助」の機運を盛り上げていくことが重要である。 また、講座への出席者は70～80歳代が中心で、「共助」の担い手となるより若い世代の参加が少ない。「共助」の担い手となる人材をどうやって発掘するかを考慮する必要がある。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 ・事業を進めていく計画は綿密に立ててください。 ・取組が多岐に渡っていることから、計画的に推進してください。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。 (理由) 事業推進体制として、住民からメンバーを募り推進事務局を立ち上げる計画であったが、4月の本事業推進責任者の人事異動により、根回し・打ち合わせの時間が取れなくなり、推進事務局を立ち上げることができなかった。	助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった
--	---

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
29. 4. 14	防災アンケート 全戸配布準備
29. 4. 15～20	防災アンケート 全戸配布
29. 4. 23	町内会定期総会 防災アンケート回収・防災活動計画説明
29. 5. 上旬	防災アンケート結果集計
29. 5. 13	防災アンケート結果 全戸配布準備
29. 5. 15	防災アンケート結果 全戸配布
29. 5. 下旬	防災講座打ち合わせ(危機管理室、消防、警察)
29. 6. 1	防災講座開催案内 町内回覧
29. 6. 上旬	助け合い講座打ち合わせ(社会福祉協議会ほか)
29. 7. 1	助け合い講座開催案内 町内回覧
29. 7. 1	災害対策本部用文房具購入(開催講座でのアンケート記入用)
29. 7. 2	防災講座開催
29. 7. 15	防災講座報告 町内回覧
29. 7. 30	助け合い講座開催 ※富山学区電子町内会ホームページ掲載
29. 7. 下旬	認知症サポーター養成講座打ち合わせ
29. 8. 1	認知症サポーター養成講座開催案内 町内回覧
29. 9. 10	認知症サポーター養成講座開催 ※富山学区電子町内会ホームページ掲載
29. 11. 1	机上訓練開催案内 町内回覧
29. 11. 19	机上訓練開催 ※富山学区電子町内会ホームページ掲載
29. 11. 下旬	災害時連絡用無線機 購入手配
29. 12. 1	机上訓練報告 町内回覧
29. 12. 2	災害時連絡用無線機 町内通信試験
30. 3. 中旬	災害対策本部用文房具購入(集会所備蓄用) あんしんカプセル 全戸配布準備(原材料手配)
30. 3. 24	あんしんカプセル 全戸配布のための封入作業(4月5日配布)

以上

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	320,000	147,200	
負担金	80,000	36,856	町内会負担分
参加費			
寄付、他収入			
計	400,000	184,056	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	180,000	129,755	災害対策本部用文房具類 巡回時連絡用無線機
②食糧費	20,000	0	打ち合わせ時飲料代
③印刷製本費	10,000	1,350	配布資料コピー代
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料		648	振込手数料
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	50,000	52,303	あんしんカプセル全戸配布
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	140,000	0	集会所機能強化講師謝礼
⑭保険料			
⑮旅費			
計	400,000	184,056	